

令和2年度

# 県西地域大学連携事業 募集要項

募集期間 令和2年2月26日（水）～令和2年4月23日（木）



## 県西地域活性化プロジェクト

「かながわ県西地域」で  
未病を改善！！

令和2年2月

神奈川県 県西地域県政総合センター  
企画調整部企画調整課

〒250-0042 小田原市荻窪 350-1

電話 0465 (32) 8000 (代表)

ファックス 0465 (32) 8111

# 目 次

1	制度の趣旨	1
2	提案事業の募集について	1
3	事業費負担の考え方について	2
4	応募方法について	3
5	事前相談について	3
6	審査	3
7	事業の実施	4
8	全体スケジュール	4
9	その他	5

## (応募様式)

- 事業提案書
- 提案者等調書
- 提案企画書
- 事業費積算書
- 労務換算額計算書

## (参考資料)

- 「県西地域の活性化に向けた取組について」
- 「県西地域活性化プロジェクトについて」
- 提案企画書（見本）
- 事業に関する Q&A
- 平成 28 年度～令和元年度 採択事業一覧

## 1 制度の趣旨

この制度は、「未病の戦略的エリア」である県西地域において、県西地域活性化プロジェクトの一環として、大学が持つ専門的な知見と若者（学生）の視点を活かし、地域と連携して、「未病を改善する」取組みの促進に繋がる新たな事業を展開することで、更なるプロジェクトの推進を図るものです。

県は、大学から提案事業を募集し、審査により採択した事業について、事業費の一部を負担します。

## 2 提案事業の募集について

### (1) 提案者の資格

大学（短期大学、大学院大学を含む）。複数の大学の共同提案や、一大学から複数の提案も可。

### (2) 大学の事業実施主体

学科、研究室、ゼミ等。複数の学科等の協働実施も可。

### (3) 対象となる事業

○ 県西地域活性化プロジェクトの3本の柱である「未病がわかる」「未病を改善する」「未病でつなぐ地域の活性化」に資する新たな事業で、大学が持つ専門的な知見と若者（学生）の視点を活かし、市町や地域で活動しているさまざまな主体（企業、NPO 団体や商工会等の各種団体等、複数の主体可）と連携して事業を企画・実施することを基本とします。

○ 事業の実施フィールドは、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町の2市8町です。

○ 調査・研究のみの事業は対象外です。

○ 平成 28、29、30、令和元年度の採択事業及び平成 27 年度に実施した「地方創生大学連携事業」の採択事業については、原則として対象外とします。ただし、「未病を改善する」取組みと認められ、エビデンスを確立するなど客観的に事業効果を測定・検証し、前回の実施結果よりさらに事業効果を高める方策を組み込んだ事業内容であれば、対象とします。

### (4) 事業の実施期間

令和3年3月12日（金）まで

### (5) 募集期間

○ 第1期募集締切 **令和2年4月23日（木）**

○ その後は、予算枠の範囲内で、随時募集を受け付けます。

### 3 事業費負担の考え方について

- 県は、提案事業を実施するために必要となる経費のうち、「事務消耗品、研究室等光熱水費」等の間接経費を除いた経費（総事業費）の一部を負担します。
- 県負担額は、1事業150万円を上限とします。

総事業費	県負担（最大150万円）	【直接経費のうち、県が認めるもの】
	大学等が負担	【労務換算額】 【直接経費のうち、県負担額以外】
間接経費	研究室事務消耗品、研究室等光熱水費	

(用語の説明)

#### (1) 直接経費

臨時雇賃金（厚生福利費含む）、外部講師謝金、旅費交通費、印刷製本費、会議室等使用料、通信運搬費、消耗品費、委託費、保険料、その他事業に直接要する経費で県が認めるもの。

ただし、次の経費は県負担額に含めることはできません。

< 県負担額に含めない直接経費 >

- ・ 会議等での飲食費
- ・ 事業実施期間外の経費
- ・ パソコン購入経費（事業遂行に必要不可欠となる説明が可能なものを除く）
- ・ 県負担額の1/2を超える施設の改修経費・リース経費、備品費等のハード事業経費
- ・ 他の補助金・協賛金等の収入を充当する経費
- ・ その他支出の根拠が確認できない経費

#### (2) 労務換算額について

提案事業に参画する大学の教員・学生の労務を別に定める基準で換算した額の計算は、次のとおりです。

教員の労務換算額	1時間当たり 3,000円×活動時間
学生の労務換算額	1時間当たり 1,100円×活動時間

#### (3) 間接経費（総事業費に含めることが出来ない経費）

研究室事務消耗品、研究室等光熱水費などは、総事業費に含めません。

#### 4 応募方法について

次の様式に必要事項を記載の上、申し込み・問い合わせ先へ郵送してください。また併せて事業提案書等のデータをメールでご提出ください。

(提出先メールアドレス：kenseiac.kikaku@pref.kanagawa.jp)

様式は、県西地域県政総合センターのホームページからダウンロードできます。

なお、提出いただいた応募書類は返却できませんので、あらかじめご了承ください。

- ① 事業提案書
- ② 提案者等調書
- ③ 提案企画書
- ④ 事業費積算書
- ⑤ 労務換算額計算書

#### 5 事前相談について

事業提案に先立ち、事前相談を行いますので、お気軽にご相談ください。事前相談は応募の必須要件ではありませんが、出来る限りご活用ください。

<相談内容>

- 提案事業が本事業の趣旨に合致しているかどうかの確認
- 市町とのニーズのマッチングについての情報提供
- 県との協働の手法に関する事
- 総事業費の対象経費や算定方法に関する事
- 審査基準への適合性に関する事

#### 6 審査

##### (1) 審査基準

	項目	内容
1	課題認識性	「未病を改善する」取組みを十分に理解した上で、県西地域の課題を的確に捉えた取組みであるか。
2	独創性	他の地域でのモデルとなるような新しい取組みであるか。
3	公共性・協働の必要性	県民ニーズに沿ったもので、県や大学、市町、さまざまな主体が協働して取組むべきものか。
4	有効性・効率性	成果目標は明確であるか。また費用対効果の視点を持った検討がなされ、効率的な事業内容となっているか。
5	実現可能性(計画性)	実施体制や進行管理方法が示された実現可能な計画、方法となっているか。
6	発展可能性	事業効果の継続・拡大を期待できるか。

## (2) ヒアリングの実施

審査に先立ち、審査委員から提案者へのヒアリングを実施します。実施日は県西地域県政総合センターが指定する日時（5月11日（月）もしくは12日（火））とします。

## (3) 審査

県西地域県政総合センターにおいて、審査会を開催し、採択する提案事業を決定します。審査結果は、ご応募いただいた全ての大学にお知らせいたします。

## 7 事業の実施

### (1) 契約等の締結

採択された事業について、大学及び県は、それぞれの役割分担や負担額の支払い方法、協働により生み出される権利等の帰属などを明らかにした契約等を締結します。

### (2) 負担金の交付

県は契約等に基づき、負担金を支出します（概算払い）。

### (3) 事業進捗状況確認

県は別に指定する方法で、事業の進捗状況を確認します。

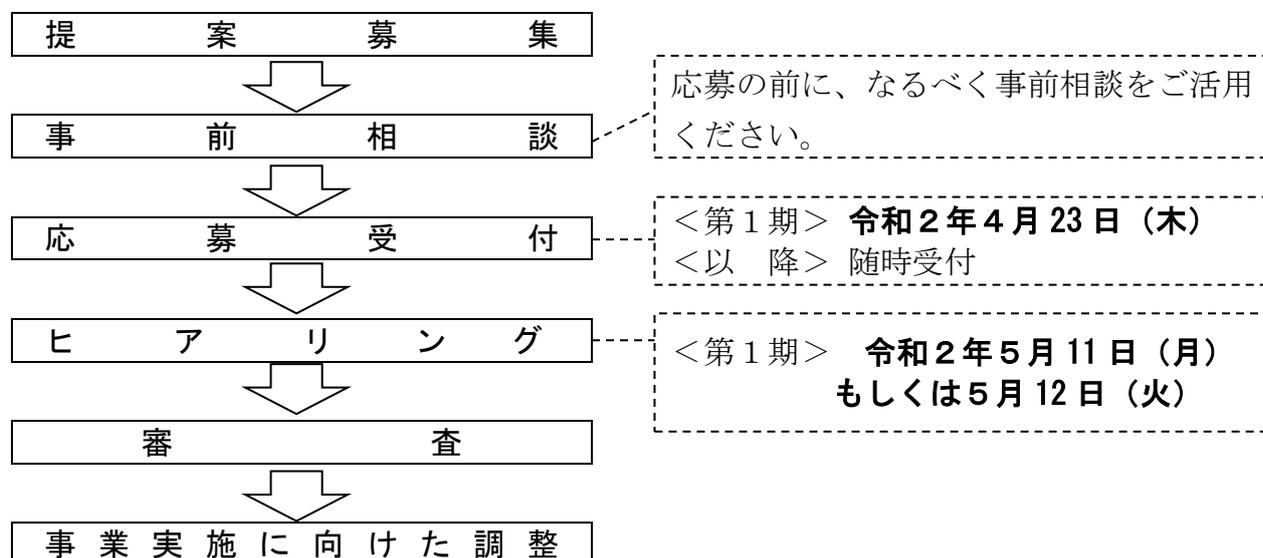
### (4) 事業実績報告

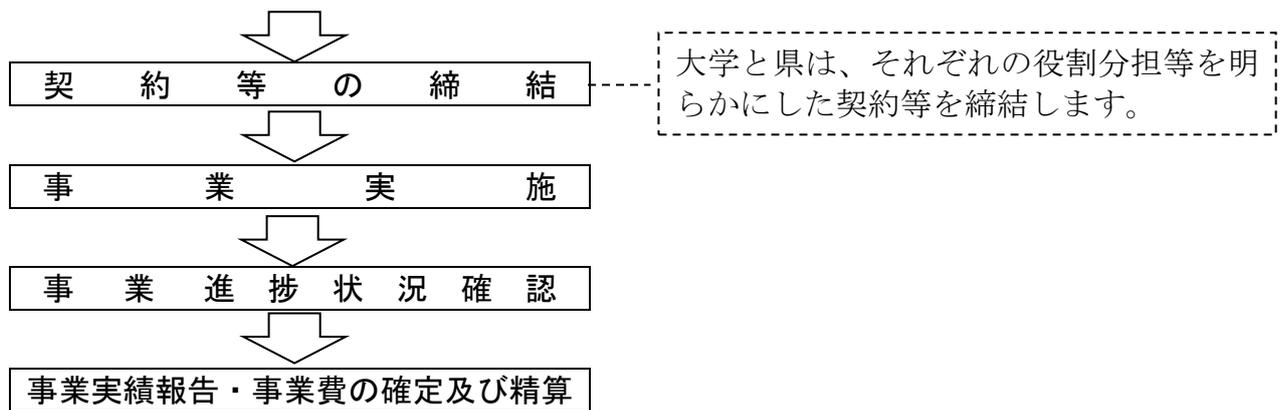
事業完了後、速やかに事業実績報告書、収支決算書等（支払等が確認できる書類を添付）を提出していただきます。

### (5) 事業費の確定及び精算

大学及び県西地域県政総合センターは、上記の事業実績報告と併せて総事業費の額を確定し、県負担額の確定額が当初予定した事業費と異なる場合には、精算手続きを行います。

## 8 全体スケジュール





## 9 その他

- (1) 応募書類の内容は、個人情報を除き原則公開とします。
- (2) 事業の成果は、原則として大学及び県の双方に帰属し、公表するものとしますが、具体的には大学と県が協議し、契約等に定めることとします。
- (3) 大学が成果を公表する場合には、本制度による成果であることを明示してください。

〒250-0042 小田原市荻窪 350-1

小田原合同庁舎内 県西地域県政総合センター 企画調整部企画調整課

電話 0465(32)8000 (代表)

ファックス 0465(32)8111

E-mail アドレス kenseiac.kikaku@pref.kanagawa.jp

令和2年度 県西地域大学連携事業 事業提案書

年 月 日

神奈川県県西地域県政総合センター所長 様

提案者 所在地  
大学の名称  
学長の氏名 印

共同提案者 所在地  
大学の名称  
学長の氏名 印

実施者 所在地  
学科、研究室等の名称  
代表者の氏名 印

共同実施者 所在地  
学科、研究室等の名称  
代表者の氏名 印

※ 共同提案者及び共同実施者の欄は必要に応じて追加してください。

次のとおり、関係書類を添付して事業を提案します。

事業の名称		
事業の概要 (簡潔に記載)		
総事業費等 (単位：千円)	項目	金額
	総事業費	
	県負担額	
	大学負担額	
	大学労務換算額	
	大学・その他団体等負担額	
	負担金以外の特定財源実施分	

令和2年度 県西地域大学連携事業 提案者等調書

1 提案者

提案者	大学の名称	
	学長の氏名	
	連絡先	担当者 部署名： 氏名： 所在地： 電話： FAX e-mail：
共同提案者	大学の名称	
	学長の氏名	
	連絡先	担当者 部署名： 氏名： 所在地： 電話： FAX e-mail：

2 実施者

実施者	学科、研究室等の名称	
	代表者(教員)の職名及び氏名	
	連絡先	担当者 部署名： 氏名： 所在地： 電話： FAX e-mail：
	実施体制 (代表者以外で事業に携わる教員等の職名及び氏名)	
	提案事業に関する知見(研究結果、ノウハウ、論文、技術等) ※これまでの活動実績や専門性について具体的に記入してください。	

共同 実 施 者	学科、研究室等の 名称	
	代表者(教員)の職 名及び氏名	
	連絡先	担当者 部署名： 氏 名： 所在地： 電 話： FAX e-mail：
	実施体制 (代表者以外で事業 に携わる教員等の職 名及び氏名)	
	提案事業に関する 知見(研究結果、 ノウハウ、論文、 技術等) ※これまでの活動実 績や専門性につい て具体的に記入し てください。	

※ 共同提案者及び共同実施者、実施体制の欄は必要に応じて追加してください。

令和2年度 県西地域大学連携事業 提案企画書

提案事業の名称		
提案者(大学の名称)		
実施者	学科、研究室等の名称	
	代表者(教員)の職・氏名	

1 事業の目的

2 背景となる課題認識

3 実施内容

4 実施スケジュール

5 達成目標(数値目標)

6 提案事業の発展可能性

7 事業実施の役割分担

(1) 大学等が実施する内容

(2) 県が実施する内容

令和2年度 県西地域大学連携事業 事業費積算書

提案事業の名称	
提案者（大学の名称）	

【事業費積算内訳】

(単位：千円)

	費目	内容	金額	積算内訳
県 負 担 額				
		小計		
大学 負担額				
		大学労務換算額		大学労務換算額計算書のと おり
		小計		
総事業費				

※ 必要に応じて行を追加・削除してください。

<注意事項>

- 事業計画について費用の面から審査するので、過去の実績や参考見積りなどから積算し、その根拠を積算内訳欄に具体的にご記入ください。  
(契約締結後の費目変更には手続きが必要となる場合があるため、できる限り精緻に積算してください。)
- 費目：臨時雇賃金、外部講師謝金、旅費交通費、印刷製本費、会議室等使用料、通信運搬費、消耗品費、委託料、保険料
- 事業費に積算できる経費については募集要項「3 事業費負担の考え方について」をご参照ください。

令和2年度 県西地域大学連携事業 労務換算額 計算書

提案事業の名称	
提案者（大学の名称）	

(単位：千円)

実施内容	実施者 (教員または学生)	積算内訳 [人数×時間(1日あたりの時間数×日数)×教員・学生別の単価]	労務換算額
合計			

<単価について>

教員（教授、准教授、講師、助教等） 1時間につき 3,000円  
 学生（大学生、大学院生、研究生） 1時間につき 1,100円



# 県西地域の活性化に向けた取組について

＝県西地域大学連携事業の位置づけ＝

令和2年2月

## 神奈川県県西地域県政総合センター



## 1 2市8町について



小田原市  
南足柄市

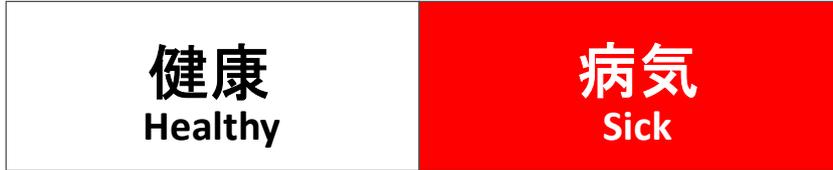
中井町  
大井町  
松田町  
山北町  
開成町  
箱根町  
真鶴町  
湯河原町





## 2 未病とは？

(未病のグラデーションモデル)



人の心と体の状態は、「ここまでが健康、ここからが病気」と明確に区別できるものではありません。



健康と病気の間を行ったり来たり、日々、連続的に変化しています。この変化している過程を「未病」と言います。そして、全ての世代が未病を自分のこととして考え、日々の生活習慣の改善等により、心身をより健康な状態に近づけていくことが、「未病改善」です。



## 3 未病とは？

(未病を改善する3つの取組み)

### 3つの取組み Three actions

**食**  
Diet



毎日の食生活を見直し、健康的な食生活へ改善すること。



**運動**  
Exercise

日常生活にスポーツや運動を取り入れること。質の高い睡眠も重要です。



**社会参加**  
Social Activity

ボランティアや趣味の活動等で他者と交流し、社会とのつながりを持つこと。

神奈川県 **4 未病とは？** (地域の特徴的な取り組み) <http://www.pref.kanagawa.jp/>

全県 = 国家戦略特区

- 健康・未病産業の創出
- 最先端医療関連産業の創出
- イノベーションを生み出す基盤構築

さがみ縦貫道路

羽田空港

**京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区**

- ◆個別化・予防医療、再生医療
- ◆革新的医薬品・医療機器の開発・製造
- ◆研究・臨床・教育の連携強化

**県西地域活性化プロジェクト**

- ◆未病を改善して、住む人も訪れる人も健康長寿
- ◆未病を改善する地域の魅力で産業力をパワーアップ

**さがみロボット産業特区**

- ◆研究開発・実証実験等の促進
- ◆関連産業の集積

5

神奈川県 **5 県西地域活性化プロジェクト** (プロジェクト概要①) <http://www.pref.kanagawa.jp/>

◇地域の意見や提案をベースに、平成26年3月に策定

**基本的な視点**

- ・超高齢社会に立ち向かう
- ・県西地域の地域資源を生かす

**プロジェクトの期間**

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを目標に推進

食も、自然も、温泉も。県西地域には「未病を改善する」健康のタネがいっぱい!

Kanagawa Prefectural Government

6



## プロジェクトの方向性

めざす  
すがた

未病を改善して、住む人も訪れる人も健康長寿

未病を改善する地域の魅力で産業力をパワーアップ

3つの柱

I 未病がわかる

II 未病を改善する

III 未病でつなぐ地域の活性化



### I 未病がわかる

#### 1 未病がわかる

- ①「未病がわかる」情報発信プロジェクト(PJ)
- ②「未病がわかる」拠点形成PJ

#### 3 「心と体」を癒す

- ⑩農と結びついたらしの提案PJ
- ⑪温泉の魅力アピールPJ
- ⑫森林の活用促進PJ

### II 未病を改善する

#### 1 「食」の提供

- ③「健康食生活」実践PJ
- ④薬用植物等利活用促進PJ
- ⑤特色ある農林水産物の新商品開発PJ
- ⑥農林水産物の販売促進PJ
- ⑦農林水産物の基盤強化PJ

#### 2 「運動」を楽しむ

- ⑧楽しく歩く地域づくりPJ
- ⑨スポーツ普及促進PJ

### III 未病でつなぐ地域の活性化

#### 1 産業基盤の形成

- ⑬産業の集積促進PJ

#### 2 観光の魅力アップ

- ⑭地域の魅力を体感する観光開発PJ

#### 3 まちづくり

- ⑮新たなまちの形成促進PJ
- ⑯まちをつなげる交通ネットワーク整備推進PJ

# 県西地域活性化プロジェクトについて



## 1 県西地域活性化プロジェクトについて

- このプロジェクトは、地域からいただいたご意見やご提案をもとにとりまとめたものであり、推進に当たっては市町、県、団体、企業をはじめ、地域が連携、協力して取り組みます。
- また、プロジェクト全体を「成長する計画」として位置づけ、新たなアイデアや提案に対して柔軟に対応します。
- このプロジェクトの推進により、県西地域を「未病の戦略的エリア」として、全国、世界に向けてアピールしていきます。

## 2 プロジェクトの基本的な視点

### 【超高齢社会に立ち向かう】

- 急速なスピードで進む超高齢社会に立ち向かうため、県では、「最先端医療・最新技術の追求」と、「未病の改善」という2つのアプローチの融合により「健康寿命日本一」と「新たな市場・産業の創出」を目指す「ヘルスケア・ニューフロンティア」の取組みを進めています。

### 【県西地域の地域資源を生かす】

- 様々な地域資源を有し、年間3千万人も観光客を引きつける県西地域は、食生活や運動などライフスタイルを見直して「未病を改善する」取組みを実践する場所として最適です。そこで、「未病の改善」をキーワードに、地域の魅力をつなげて一つの大きな魅力を創り出し、新たな活力を生み出すためのプロジェクトを策定しました。

## 3 プロジェクトの期間

- 2020年（平成32年）の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、未病を改善する「神奈川モデル」をアピールすることを目標に取り組みます。

## 4 プロジェクトの方向性

めざすすがた：未病を改善して、住む人も訪れる人も健康長寿  
未病を改善する地域の魅力で産業力をパワーアップ

- 県西地域において未病を改善し、住む人や訪れる人の健康長寿を実現するとともに、未病を改善する様々な地域の魅力をつなげて産業力を高め、自然といのち、世代が循環する地域づくりを進めることで、地域経済の活性化を図ります。

このために、次の3つの柱でプロジェクトに取り組みます。

### I 未病がわかる

「未病を改善する」取組みを進めるためには、まず、未病について十分な理解が図られる必要があることから、「未病」についての理解促進を図ります。

### II 未病を改善する

「未病を改善する」ためには、食生活や運動など、ライフスタイルそのものの見直しが必要であり、温泉や森林、地元の食材など、「未病を改善する」県西地域の魅力をさらに高めます。

### III 未病でつなぐ地域の活性化

「未病がわかる」、「未病を改善する」取組みを地域経済の活性化に結びつけるため、産業の集積促進や、観光魅力の向上、交通ネットワークの整備などに取り組みます。

### 「未病の改善」とは

「未病」とは、健康と病気を2つの明確に分けられる概念として捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものと捉え、この全ての変化の過程を表す概念のことで、そして「未病の改善」とは、特定の疾患の予防・治療に止まらず、心身全体をより健康な状態に近づけることを言います。

そのためには、食のあり方や運動、休養などライフスタイルを見直すことが必要になります。

こうした概念や取組みは、超高齢社会に立ち向かうための、全国、世界に先駆けた「神奈川モデル」となります。

健 康 未 病 病 気



1 「未病がわかる」情報発信プロジェクト  
地域のにぎわいを生かして、「未病を改善する」取組みの戦略的なPRを行います  
○「未病いやしの里づくり」の推進 ○箱根における未病普及啓発イベントの開催 など



2 「未病がわかる」拠点形成プロジェクト  
「未病の戦略的エリア」の核となる拠点の設置などを行います  
○未病バレー「BIOTOPIA」の設置 ○未病センター構想の推進 など



3 「健康食生活」実践プロジェクト  
個人の体調に合った食の提供やPRを通じて、「未病を改善する」食生活を普及します  
○未病いやしの里(里の宿・レストラン)事業の展開 ○未病いやしの里「食の駅」事業の展開



4 薬用植物等利活用促進プロジェクト  
薬用植物等を利用したレシピの開発や普及啓発などに取り組みます  
○薬用植物等を利用したレシピ開発・提供 ○薬用植物等の利活用の促進



5 特色ある農林水産物の新商品開発プロジェクト  
県西地域の特産物である茶、柑橘、梅などの機能性を活かした商品開発を推進します  
○「足柄茶バリューアップ」の促進 ○柑橘、梅等の果樹類の6次産業化の促進 など



6 農林水産物の販売促進プロジェクト  
農林水産物の地産地消を拡大するため、ブランド化や流通システムづくりを推進します  
○安全安心な農産物のブランドづくりの推進 ○シェフと農家をつなぐ販売戦略の推進 など



7 農林水産物の基盤強化プロジェクト  
食を支える農林水産物の課題を解決するための取組みを推進します  
○生産、流通の拠点となる漁港の整備促進 ○野生鳥獣による農林水産物被害対策の推進 など



8 楽しく歩く地域づくりプロジェクト  
旧東海道・足柄古道ウォークや歴史探訪まちあるきなど、楽しく歩いて健康になる取組みを推進します  
○旧東海道・足柄古道ウォーク、歴史探訪まちあるきなどの推進 など



9 スポーツ普及促進プロジェクト  
地域で盛んなスポーツなどを通じて、様々な年代が気軽に体を動かせる場づくりを進めます  
○パークゴルフの普及促進 ○未病いやしの里「運動の駅」事業の展開 など



10 農と結びついたくらしの提案プロジェクト  
農作業などの体験を通じて、心と体をリフレッシュさせ、健康的な生活を送る環境づくりを進めます  
○クライנגルトン(滞在型市民農園)の整備促進 ○地域の特色を生かした市民農園の促進



11 温泉の魅力アピールプロジェクト  
温泉の持つ魅力を幅広い世代に向けてアピールします  
○効果的な入浴方法・新たな温泉活用の提案 ○未病いやしの里「湯の駅」事業の展開 など



12 森林の活用促進プロジェクト  
森林の癒しを体感できる取組みや、森林を守る取組みを推進します  
○森林浴の普及促進 ○未病いやしの里「森の駅」事業の展開 など



13 産業の集積促進プロジェクト  
「未病を改善する」取組みとの連携により、産業集積を促進します  
○企業立地促進のための方策の検討・実施 ○県版特区による企業立地の促進 など



14 地域の魅力を体感する観光開発プロジェクト  
地域の資源を効果的に連携させた新たな観光を推進し、誘客の促進を図ります  
○地域資源を活用したツーリズムの展開 ○ジオパーク探訪自然体験ツアーの実施 など



15 新たなまちの形成促進プロジェクト  
地域に住まうことで、「未病を改善する」ライフスタイルを実践できるまちづくりを促進します  
○OME-BYOタウンの形成促進 ○世代をつなぐまちづくりの促進



16 まちをつなげる交通ネットワーク整備推進プロジェクト  
観光地へのアクセス向上など、地域を快適に移動できる交通ネットワークの整備を推進します  
○新東名高速道路や小田原箱根道路などの整備促進 ○地域交通ネットワークの重点整備

## 令和2年度 県西地域大学連携事業 提案企画書（見本）

提案事業の名称	〇〇による未病改善プロジェクト	
提案者（大学の名称）	□□大学	
実施者	学科、研究室等の名称	△△学科
	代表者(教員)の職・氏名	教授 県西 太郎

（5W1Hを意識し、事業の概念図や写真などを用い、簡潔にご記入ください。）

### 1 事業の目的

県西地域活性化プロジェクトのめざすすがたである次の2つ

「未病を改善して、住む人も訪れる人も健康長寿」

「未病を改善する地域の魅力で産業力をパワーアップ」

に沿った事業の目的を簡潔にご記入ください。

記載例) 地域の住民が主体となり〇〇〇〇（地域特産物）を開発。〇〇〇〇の健康増進効果と住民の社会参加によるやりがい醸成により、心身ともに未病改善を目指す。

### 2 背景となる課題認識（Why に当たるものとして記載してください）

記載例) 県西地域の農産物は少量栽培であるため「特産物」と呼べるものが無い。また△△地域は住民同士の交流が少ないため、社会的孤立が問題視されてきている。

### 3 実施内容（Who、What、Where、How に当たるものとして記載してください）

記載に当たっては、

「大学の知見と若者（学生）の視点を活かす」

「県西2市8町のいずれか(市町をまたがる取組も可)を実施フィールドにする」

「さまざまな主体（企業、NPO 団体、商工会等）と連携する」

を意識してください。

記載例) 〇〇に造詣が深い教授が先頭に立ち、△△地域住民への講義や実習を通して、住民自らが考え、学生たちと協力しながら地域特産物の開発を行い、最終的に協力事業者と商品の販売を目指す。

### 4 実施スケジュール（When に当たるものとして記載してください）

記載例) 7月〇日、△日 △△地域住民への講義・ワークショップを実施

8月～9月 住民が中心となり、□□を拠点にして特産物の開発を検討

10月～12月 試作品の制作、プレゼンテーション

1月～2月 事業成果発表、特産物の販売開始

3月〇日 事業の最終報告

※表を用いて記載いただいても構いません。

## 5 達成目標（数値目標）

記載例）地域特産物を3点開発し、うち1点を協力事業者で販売を行うことを目指す。

※地域活性化（産業力アップ）につながるもの

## 6 提案事業の発展可能性

記載例）開発した地域特産物を地域事業者に発信し、商品化したい事業者を募ることで、販売の自走化や事業者によるアレンジなどが考えられる。また、□□を継続して地域住民の拠点とすることで、住民同士の交流が継続するものと考えられる。

## 7 事業実施の役割分担

### （1）大学等が実施する内容

記載例）事業主体として、講義・ワークショップを△△地域で実施。また事業に参画いただける住民へのフォローを継続。さらに、協力事業者を巻き込み事業の推進を図る。

### （2）県が実施する内容

記載例）県広報媒体を活用した後方支援等。

## 県西地域大学連携事業に関するQ & A

### 1 事業への応募

#### (1) 事業内容について

Q：事業の連携先（市町や地域で活動しているさまざまな主体）が決まっていますか？  
が応募できますか？

A：応募できますが、審査の段階では事業の具体性を評価しますので、それまでには連携先の見込みが立っている必要があります。

県では県西地域2市8町に事業のニーズ調査を行っており、事業の連携先を紹介できる場合もありますので、ご相談ください。

Q：県西地域活性化プロジェクトの3本の柱である「未病がわかる」「未病を改善する」「未病でつなぐ地域の活性化」に資する新たな事業とはどのような事業ですか。

A：県西地域活性化プロジェクトのホームページに詳細が記載されておりますので、ご確認ください。

(<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0602/kenseipj/>)

Q：調査・研究のみの事業とはどのような事業ですか。

A：例えばどこかの地域住民の健康状態を調査し、調査結果をレポートとして提出するのみといった事業です。

その結果を活かして、未病を改善する事業や地域の活性化につながる事業を行っていただく必要があります。

#### (2) 応募締切について

Q：4月23日（木）の応募締切に間に合いそうにありません。

A：第1期募集の採択後、事業の予算枠に達していない場合、追加募集を行います。

詳しくは県担当までお問合せください。

#### (3) 事業費について

Q：大学が負担する労務換算額は、大学側で別途新たに予算を確保する必要のあるものですか。

A：別途予算を確保いただく必要はありません。提案事業に費やす時間を、教員3,000円/1時間あたり、学生1,100円/1時間あたりで計算し、大学が負担する労務換算額として計上していただきます。

Q：事業に参加する学生の食事代（昼食代）を事業費に含めてよいですか。

A：会議等での飲食費は含めることができません。

＜参考：県負担額に含めない直接経費＞

- ・ 会議等での飲食費
- ・ 事業実施期間外の経費
- ・ パソコン購入経費(事業遂行に必要不可欠となる説明が可能なものを除く)
- ・ 県負担額の1/2を超える施設の改修経費・リース経費、備品費等のハード事業経費
- ・ 他の補助金・協賛金等の収入を充当する経費
- ・ その他支出の根拠が確認できない経費

#### (4) 事前相談について

Q：事前相談は必ず行わなければいけませんか。

A：過去に事業提案書等を提出いただいた際、事業提案書の記載方間違いや事業費積算書の費目違い等が発見され、受理できないこともありました。

事前相談は必須ではありませんが、出来る限りご活用ください。

#### (5) 審査について

Q：ヒアリング日程が指定されていますが、日程変更はできませんか。

A：審査員の都合上、ヒアリング日程を変更することはできません。代理の方でも構いませんので、ご出席をお願いします。

# 令和元年度県西地域大学連携事業 採択事業一覧

(採択事業)

提案大学	提案の名称	提案の概要
東海大学 健康学部	歩いて食べて ME-BYO 改善!!ME-BYO センター等を利用した ME-BYO チェックと改善プログラムの提案	県西の未病センター等で未病評価を行った結果を基に、プログラムを開発しイベントで体験頂くと同時に、運動と栄養の重要性を認知頂く。またプログラムの自走化も視野に入れた活動を目指す。
東海大学 観光学部	大井町の魅力を活かした未病を改善する農村民泊プログラム共創事業	大井町役場、(一社)神奈川大井の里体験観光協会と連携し、未病を改善する農村民泊体験を創り上げる。創り上げたプログラムを体験するモニターツアーを実施し、事業者を巻き込んだ持続可能なプロモーション体制を構築する。さらに事業の自走化の可能性を把握する。
昭和薬科大学 薬学部	神奈川県西地域の特産品「梅」を用いた「無塩梅干し」の生産	「無塩梅干し」及び「梅ジャム」を特産品として試作品を完成させるとともに、「無塩梅干し」の製法を地域に還元し、製造、製品化を目的とする。これにより塩分摂取過多を原因とする生活習慣病を予防し、未病改善への貢献を目指す。
横浜国立大学	森里川海の環境保全活動を中心とするSDGsの取り組みを未病改善と地域の魅力向上に繋げるプロジェクト	県西地域の高校生をはじめとする若者に対してSDGsに関する意識調査を行い、結果を分析した内容をもとにワークショップを実施する。さらに学生たちが小田原の生産者と連携・協働することで活動を盛り上げて社会参加を促し、また地域の魅力を若い力でPRする。これらの活動をイベント企画や商品開発につなげることで、地域の産業力アップに貢献する。
東海大学医学部/ 大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部	青ミカンの未病改善効果の解明と普及	神奈川県産青ミカンの機能性に着目し、その未病改善効果を明らかにする。また農協や市民の協力を得て疫学調査により未病改善効果を明らかにする。さらにこれらの結果を広く普及する活動を行う。

## 平成 30 年度県西地域大学連携事業 採択事業一覧

(採択事業)

提案大学	提案の名称	提案の概要
小田原短期大学 乳幼児研究所	中高年層の未病改善を目的とした食育プログラムの開発と実践～好ましい食習慣の定着を促す食育教材の開発とその使用～	未病改善を目的とした教材(カードゲームや大型スゴロク)を新たに開発し、健康イベントにおいて好ましい食習慣の定着を促す食育を展開する。
東海大学 健康学部	健康を学ぶ学生が提案する ME-BYO 改善のための科学的根拠に基づく食の提案プロジェクト	ME-BYO 改善のために神奈川産品を利用した科学的根拠に基づく献立開発を行う。また独自開発した実食による栄養評価を行い、一定基準を満たした献立を用いて住民を対象に「体験食育講座」を開催する。
東京農業大学 応用生物科学部 醸造科学科	発酵を活かした地域住民のやりがいづくりによる未病改善プロジェクト	「発酵」を暮らしに取り入れることで未病改善を学べる講座を実施。地域住民が主体となり、発酵特産物の開発等を行うことで、住民のやりがいと生きがいを醸成する。
東海大学 観光学部	農村体験および地産食体験を通じた社会参加による未病改善事業	大井町相和地区の“相和もりあげ隊”活動に参加し、教育旅行等の受入れに適した収穫・制作体験等を体験する。また学校行事等において、制作体験の実演・相和地区食材を使った食の提供等を行い、同地区の活動および里山としての魅力を発信し、住む人も訪れる人も未病改善につながる取組に貢献する。

## 平成 29 年度県西地域大学連携事業 採択事業一覧

(採択事業)

提案大学	提案の名称	提案の概要
小田原短期大学 乳幼児研究所	ライフステージに即した未病へのアプローチ ～好ましい食習慣と健康な体づくり～	「減塩」「野菜」をキーワードにしたレシピコンテストを学内で開催し、未病の改善に繋がるメニュー開発とそのメニューの普及を図る。
慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科	耕作放棄解消のための安全性・収益の高い柑橘栽培の実践と都市農村交流を通じた未病改善事業	耕作放棄地を開墾し、安全性かつ収益が高いレモンの試行的な植樹や収穫イベントなどの作業を通じて未病の改善を図るとともに、耕作放棄地解消のためのビジネスモデルの確立を目指す。
東海大学 観光学部	未病改善につながる観光の実証体験及びモデルプラン提案	「未病いやしの里の駅」において、医学的見地から「未病改善」の効果を測定する「運動」「温浴」を組み合わせた観光モデルプランを施設と協力して作る。
東京農業大学 応用生物科学部 醸造科学科	発酵を活かした地域住民のやりがいづくりによる未病改善プロジェクト	「発酵」の未病改善効果を専門的かつ楽しく学べる講座の実施と発酵特産物の開発、発酵の体験事業プログラムを構築するためのワークショップを実施する。
横浜国立大学 成長戦略研究センター	「農家高齢者の未病改善」を目指す滞在型農業体験事業	農家の高齢者の生きがいづくり(=未病改善)のため、学生が週末を利用して農家に滞在し、農業体験を行うとともに、自立化に向けた体制作りを行う。
横浜薬科大学 総合健康メディカルセンター	環境を基盤としたウィメンズヘルスでの未病克服	里山を舞台に、女性をターゲットにした自分の体に合った「マイセルフ農作物」の栽培と、未病改善に繋がる講座等を実施する。

## 平成 28 年度 県西地域大学連携事業 採択事業一覧

### <採択事業>

提案大学	提案の名称	提案の概要
小田原短期大学 乳幼児研究所	乳幼児から始める未病に関するアプローチ ～保育と食育を通じた地方創生～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前の幼児と保護者を対象に、食べる楽しさを知り多様な食材体験等ができる調理実習（「保育版おだたん食育村」）の実施</li> <li>・食生活がおろそかになりがちな子育て中の働き盛りの家庭を対象に、簡単で栄養価の高い料理の調理体験やレシピの冊子化 等</li> </ul>
東海大学 観光学部	「未病に係わる観光体験」の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未病の認知度の向上のため、「未病いやしの里の駅*1」で、食や運動、癒しなどを学生が体験し、その様子の動画を SNS で発信 等</li> </ul>
横浜薬科大学 総合健康メディカルセンター	県西地区の農産物を素材とした「薬食同源」による県西オリジナル未病対策の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種柑橘類（規格外品や摘果品を有効活用）から抽出した、認知症予防やロコモ症候群*2 等への効果が期待される有効成分の機能性の実証と機能性表示食品への提案、介護食の素材・薬膳料理献立の作成 等</li> </ul>

\*1 「未病いやしの里の駅」とは、気軽に立ち寄って、未病を改善する体験ができる地域資源を生かしたスポットです。「食の駅」「運動の駅」など6種類あり、平成 28 年 6 月 13 日現在で 122 施設が登録されています。

\*2 「ロコモ症候群」とは、運動器（筋肉、骨、関節等）の障害により、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態です。進行すると介護が必要になるリスクが高くなります。